



全農職員としての決意新たに

令和2年度辞令交付式

総務人事部

安田常務から辞令書を受ける本所採用者(営農・技術センターで)



令和2年度新規採用職員262人が4月1日、全農職員として新たに加わりました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全体での入会式は実施せず、本所採用者は営農・技術センター(神奈川県平塚市)、都府県本部採用者は各本部で

辞令交付式を行いました。営農・技術センターで安田孝常務から激励の言葉とともに辞令書を受け取った本所採用者79人は、希望に満ちた表情を見せていました。都府県本部採用者にも、各本部長から一人一人に辞令書が手渡されました。また、テレビ会議システムを利用し、新規採用職員は年度初め行事における長澤豊会長のあいさつを各会場で視聴しました。「直接会ってあいさつできないのが非常に残念」としながらも、長澤会長から門出を祝う言葉が届けられました。



生産者と消費者どちらもサポート

JAタウンで産地支援セール

フードマーケット事業部



「野菜BOX」の牛乳付きセットの一例



「自宅でごはんを作るお母さんを応援 野菜BOX」のバナー

全農が運営する産地直送ショッピングモール「JAタウン」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている生産者や、自宅でごはんを作る機会が増えた消費者を応援する取り組みを展開しています。

3月11〜31日まで、「自宅でごはんをつくるお母さんと農家さん応援キャンペーン」と題して、産地直送の新鮮な野菜の詰め合わせに「農家さん応援キャンペーン」で牛乳1本をセットにして販売したところ好評でした。引

き続き「自宅でごはんを作るお母さんを応援野菜BOX」を販売しています。

また、販売に苦戦している国産肉の消費を後押ししようと、JAタウンの牛肉カテゴリの商品を購入した人の中から抽選で5名様に1万円相当の和牛(A5ランク)を贈るキャンペーンも展開しています。第1弾は4月30日までの購入者が対象で、5月に第2弾も検討しています。



「国産のお肉消費応援キャンペーン」のバナー

詳しくは、JAタウンのホームページをご覧ください。





県内小学校へ食農教材を贈呈

クリアファイルに加え、新たに下敷きを作製

秋田県本部

秋田県本部とJAバンクあきたは、それぞれ小学生向けの食農教育の補助教材を作製し、4月7日に秋田県に贈呈しました。



贈呈式に出席した左からJAバンクあきたの木村直人支店長、川原副知事、秋田県本部の佐藤英一副本部長



「牛乳ができるまで」と「日本の食料自給率を考えよう」をテーマにしたクリアファイル



今年度新たに作った「秋田のお米づくりカレンダー」と「秋田県の農業」の下敷き

秋田県本部は平成18年度から小学生向けの食農教材、平成22年度からは、お米や野菜など県内の農畜産物や、農業と食に関する情報を掲載したクリアファイルを県内の小学5年生に贈っています。今年度のクリアファイルは、「牛乳ができるまで」をテーマに酪農家の一日の仕事、牛乳が食卓に届くまでに多くの手間がかかっていることや、牛乳には児童の発育期に必要な多くの栄養素が含まれていることを紹介しています。また、日本の食料自給率が、食生活の変化などにより低い水準になっていることや、食料の多くを輸入に頼ることの問題点に触れ、子どもたち自らが実践できる事例を紹介して

います。
今年度は新たに「下敷き」を作り、米づくりの学習に役立ててもらえるよう「秋田のお米づくりカレンダー」と、「秋田県の農業」について興味をもってもらえるよう、お米の生産量や品種、生産されている農産物や農業人口を掲載しました。
県庁で行われた贈呈式で目録を受け取った川原副知事は「学力も全国トップである秋田県なので、この教材を活用し、農業について大いに勉強してもらいたい」と話しました。
クリアファイルと下敷きは、県内の小学5年生と特別支援学校の児童・生徒に届けられます。



年4回の担当者会議でJAの資材店舗支援強化

初回は新型コロナウイルス対応でテレビ会議

東北営農資材事業所

東北営農資材事業所と東北6県本部の資材店舗担当者は、JAの資材店舗の活性化を支援するため、今年度から年4回の資材店舗担当者会議を開催し、JAの魅力ある資材店舗づくりを応援します。

第1回は、4月14日に開きました。新型コロナウイルスの感染拡大で外出自粛要請もあり、テレビ会議方式となりましたが、資材店舗支援が停滞しないように県本部と知恵を絞って進めます。



テレビ会議方式で行った第1回資材店舗担当者会議

今こそ広げよう、
消費の輪

新型コロナ受け 各地で需要喚起

新型コロナウイルスの感染拡大を受けた学校給食の停止やイベントの中止、インバウンド需要の大幅な低迷などで、畜産物や生花などの需要が落ち込んでいます。不安を抱える生産者のため需要を少しでも後押しすべく、全農も各地で消費拡大に向けた取り組みを展開しています。

大分県本部

JA職員自ら県産野菜詰め合わせ 購入で消費拡大

JAグループ大分は、大葉やミツバなど飲食店での需要が高い品目の消費が落ち込んでいることを受け、JA職員自ら大分県産野菜(大葉・ミツバなど周年野菜6品目)の詰め合わせを購入するなど消費拡大に取り組んでいます。この取り組みには大分県、大分市の職員も賛同し、協力しています。



大分県産野菜の詰め合わせをPRする大分県本部職員

新潟県本部

新潟駅構内にチューリップの アレンジメント

新潟市内小学校卒業生にミニ花束

新潟県本部は、新潟市や新潟県花き振興協議会と連携し、新型コロナウイルスにより需要が低迷した新潟県産チューリップの消費喚起を図るため、JR新潟駅構内でチューリップのアレンジメントを展示しました。また、新潟市内にある区役所の窓口へ800本、新潟市内の小中学校を卒業する子どもたちへ、1万3000本のチューリップをミニ花束にしてプレゼントしました。



1000本のチューリップをあしらった
アレンジメント

岩手県本部

JA岩手県五連職員へ牛乳・肉製品の消費拡大呼び掛け

岩手県本部は、JA岩手県五連(中央会、信連、厚生連、全農いわて、共済連岩手)と一体となり、牛乳と肉製品の消費拡大運動を行っています。牛乳は、職員による積極的な購入を呼び掛けた他、会議などで活用しました。また肉製品については、岩手の大

地で育まれた安全・安心な品質の食肉を販売する「株式会社いわちく」の製品を内部で取りまとめて注文するなど、職員への積極的な消費拡大を呼び掛けています。

秋田県本部

花と食で秋田を盛り上げよう運動

JAグループ秋田と秋田県は、県産農畜産物の消費拡大キャンペーン「花と食で秋田を盛り上げよう運動」を始めました。「職場や自宅に花を飾ろう」「毎日一本牛乳を飲もう」「卒業や入学のお祝いに秋田牛や比内地鶏を食べよう! 贈ろう!」など、秋田を元気にしていくための協力を呼び掛けています。



秋田県JAビル1Fロビーに飾られた県産生花を使用したフラワアラジメンツ(中央の像は農村の救済活動に生涯をかけた秋田の偉人・石川理紀之助)

広島県本部

直営の農畜産物直売所で農家応援フェア開催

広島県本部は4月初旬、直営の農畜産物直売所「とれたて元気市」で、需要喚起を目的に「農家応援フェア」を開きました。フェアでは牛乳や和牛肉を特別価格で販売、レジで当たり付きのレシートを受け取った人には花をプレゼントしました。今後も需要喚起の取り組みを続けていきます。



特設コーナーで牛乳を購入する親子

千葉県本部

テレビ、ラジオで生産者・組合員応援千葉の恵みキャンペーンを展開

千葉県本部は、消費動向の不透明感が増す中、生産者・組合員を応援するため「千葉の恵みキャンペーン」を展開しています。

JAの皆さんが3月にテレビ番組に生出演した際、スタジオ内を房総の花で飾りました。

また、ラジオ番組を通じて県産農畜産物や花きなどをPRするとともに、毎週水曜日にリスナーへ抽選でJAの旬な商品をプレゼントする取り組みを始めました。

- 放送期間：4月1日～6月末 毎週水曜日
- 放送局：(株)ベイエフエム
- 番組名：「POWER BAY MORNING」(月～金曜日5:00～8:57)



テレビのスタジオ内に飾られた房総の花

岡山県本部

お肉を食べて生産者を支援しよう「おかやま和牛肉」消費拡大運動

JAグループ岡山では、JA・連合会・関連会社だけでなく、行政や市場関係者、マスメディアなどの協力を得て、3月から「おかやま和牛肉」の消費拡大運動を展開しています。お肉を食べて生産者支援をしていきます。



営業開発部が他企業と連携

商品開発続々

営業開発部は、平成29年9月に全農の新たな営業拠点として設置されて2年半が経ちます。現在、国産農畜産物の販売力強化に向けて、「営業開発」、「商品開発」、「産地開発」、「JA役員等への販売相談」などの機能を担い、販売事業における「バリューチェーン」の構築に取り組んでいます。

【営業開発部】



販売先を起点とした商品開発

「商品開発」については、簡便化や健康志向などの消費者ニーズ、業態別の実需者ニーズ等に迅速かつ柔軟に対応するため、昨年4月に「全農グループMD（マーチャングライジング）部会」を立ち上げるとともに、営業開発部にMD企画課を新設し、そのサポートや進捗確認を担っています。

「全農グループMD部会」には、販売先のPBを対象とした「作業部会」と、全農グループのNB（ナショナルブランド）を対象とした「専門部会」があり、それぞれの部会で目的に応じたチームを結成して商品開発を行っています。

昨年度は、「全農グループMD部会」の初年度ということもあり、10商品の開発を計画しました。結果として、「作業部会」では、ファミリーマート向けのドライフルーツ、アマゾン向けの玄米パックごはん、ダイエー向けのベジライスなど、また、「専門部会」では、「農協シリーズ」として農協ヨーグルト、農協たまごなど、61商品を開発し、計画を大幅に上回りました。

さらに「全農グループMD部会」では、全農グループの商品のブランディングを進めるため、今年1月、新たな商品ブランドとして「ニッポンエール」を商標登録しました。今後は、「ニッポンエール」のもと、全農のNBの商標としてだけではなく、伊藤園の「濃い健康青汁」や日本アクセスの冷凍食品など、食品メーカーや商社とのWブランドも展開していきます。



農協シリーズの商品開発



「ニッポンエール」と全農のNB

「濃い健康青汁」を共同開発した株式会社伊藤園 広域量販店営業本部一部第二課 本部晋太郎 課長（全農担当者）

健康を気遣う方が増加傾向にある中、青汁市場の中でも伸長が顕著な無糖タイプに目を付けました。全農様との共同開発により素材を厳選、JA様にもご協力いただき、福岡県産の大麦若葉と大分県産の香々地長命草などをブレンドし、毎日飲み続けられる味わいに仕上げることができました。多くのお客様にお届けできるよう営業活動に邁進し、ニッポンエールブランドのさらなる活性化を図ってまいります。



北海道産塩あじだまめは「Delcy（株日本アクセス）」との共同開発商品



長野県産リンゴ加工品、機能性表示食品として商品化

JAタウンの全農長野ショップ「僕らはおいしい応援団」で販売

長野県本部



JAタウンで販売しているセミドライフルーツ「毎日アップル(シナノゴールド)」(左)とリンゴジュース「毎日アップル(ストレート)」

リンゴのセミドライフルーツ「毎日アップル(シナノゴールド)」は森食品工業(株)が製造。原料の特長を最大限に生かすと同時に、プロシアニジンの含有量を高めるため、砂糖や添加物を使わずに乾燥させました。また、リンゴジュース「毎日アップル(ストレート)」は長野興農(株)が製造。過熱によりプロシアニジンが減少することから、加熱処理の回数を抑えて製造しました。どちらもJAタウン内の全農長野ショップ「僕らはおいしい応援団」で販売しています。

長野県本部はリンゴ加工品2商品、内臓脂肪を減らす効果があると報告されている成分「プロシアニン」が含まれている機能性表示食品として発売しました。

ここに注目!

新生全農ホームページ ①

～トップページ～ 情報を整理整頓し 迅速に発信

全農の本所ホームページ(HP)が3月下旬に新しくなりました。農業・JA関係者をはじめ全農になじみの薄い消費者にも分かりやすいページを目指しました。新たなホームページの魅力を、複数回に分けて紹介します。【広報・調査部】

三つの窓口で消費者を誘引

初回はトップページについてです。まず目を引くのが「日本の食を味わう」、「食と農を体験する」「食でスポーツを応援」の三つの大きな窓口。一般消費者にも親しんでもらおうと、「日本の食を味わう」をクリックすると全農が展開する飲食店やECサイトなどの情報を集めたページに、「食と農を体験する」からは農業体験や料理教室といったイベントや農泊といったサービスなどの情報を集約したページに、「食でスポーツを応援」の窓口からは、全農所属の石川佳純選手をはじめとするスポーツ関連の話題が集まったページにアクセスできます。

消費者、生産者・JA向け窓口も創設

三つの窓口の下に設けたのが「消費者のみなさまへ」「生産者・会員JAの方へ」の二つのボタンです。「消費者のみなさまへ」ボタンを押すと、食関連の商品情報や広報誌、情報サイトなどを集約したページに、「生産者・会員JAの方へ」からは耕種、畜産農家の方々それぞれに向けた営農支援施策等を掲載したページに移ります。消費



ポイント①

「食べたい」「体験したい」といったわかりやすい区分で情報を整理!

ポイント②

消費者、農業関係者それぞれが求める情報にすぐに行き着けるよう設置

ポイント③

訪問者を飽きさせぬよう旬な情報を随時、紹介

者、農業関係者それぞれが求める情報にたどり着きやすくしました。

旬の情報も随時発信

「PICK UP」コーナーも注目です。新たな取り組み、アピールしたい情報を画像つきで掲載し、より詳しいページにつながります。現状は石川選手の最新テレビCMなどを取り上げていますが、これからもこうした広く注目を集めそうな情報を積極的に取り上げ、常に新しい情報に触れられるページにしていきます。

全農のホームページはこちら





全国のおいしいものをご紹介します

ラジオ番組「あぐりずむ」がリニューアル

全農が日本の農業を応援しようと、
2015年から提供しているラジオ番組「あぐりずむ」がリニューアルします。

【広報・調査部】



番組ではJAタウンに掲載している旬の農産物や商品を紹介し、パーソナリティーの川瀬良子さんがスタジオで試食。商品の魅力やおいしさを存分に紹介します。また、スタジオを飛び出し、現地取材も行います。毎回、「JAタウンギフトカード」をリスナーのみなさんにプレゼントしますので、おいしさを堪能してください。

初回放送は、5月7日(木)です。ぜひお聴きください。

番組概要

番組名

「あぐりずむ〜ニッポンいただきます紀行〜」

放送局

TOKYO FM/JFN38局ネット

放送開始日

5月7日(木)

放送枠

TOKYO FM毎週木曜日
15:50~16:00(10分枠)
※放送時間は局ごとに異なります



パーソナリティーの川瀬良子さん

毎週土曜日13時~ TOKYO FM系列38局ネット

全農 ZEN-NOH

COUNTDOWN JAPAN リスナープレゼント

5月2日放送のプレゼントは、和歌山県産のジャム5種セット〜『プレザーブスタイル』です。100%紀の里産原料を使用し、旬の果物のおいしさやみずみずしさをそのまま形に残すプレザーブスタイルで見た目も鮮やか。柿・キウイ・八朔・桃・いちごのセットでお送りします。

また、JAタウンギフトカード4500円分を1名様にプレゼントします。 【広報・調査部】



応募は番組ホームページで受付中です。



応募締め切りは5月2日の放送でランキング1位の曲が発表されるまでです。

こちらの商品はJAタウンからご購入いただけます。

JAタウン <https://www.ja-town.com/shop/g/g5602jam2>
(ショップ名:JA紀の里'旬'たより)



JA全農のインターネットショッピングモール

JAタウン ショップ紹介

you+youくまもと 農畜産物市場(㈱エコーブ熊本)

今回ご紹介するのは、熊本県産小玉スイカ「ひとりじめ」。今の時期、一番におすすめの商品です。熊本県では古くからスイカの栽培が行われ、今も日本一の生産量を誇ります。梅雨前までの今の時期に収穫するスイカは「一番果」といって、その年の最初になる実のこと。特に一番果は糖度が安定していて、シャリッとした食感と甘さが特長です。ショップでは小玉スイカ2玉をセットにして販売しています。なかなか外に出られない「巣ごもり」のストレス解消に、スイカ1玉まるごとひとりじめ……なんて贅沢はいかがでしょう。小玉サイズなので、冷蔵庫にもぴったり収まります。召し上がる際、冷やしすぎは厳禁! 15度ほどが目安です。この機会にぜひ、ご賞味ください。



熊本県産 小玉スイカ
ひとりじめ2玉……4800円

ご注文はこちらから



▶ JAタウンはこちらから <https://www.ja-town.com>
▶ お問い合わせは shop@ja-town1.com



『JA全農ウィークリー』の
ツイッターはこちら



私たち全農グループは、
生産者と消費者を 安心して結ぶ懸け橋
になります。